



© 25 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. L65682

NIE
教育に
新聞を

4

小学1・2年生向け

「歩」が「と」に大へんしん！

川北亮司作 藤本四郎絵

小学校2年生の歩は、同じクラスの大川くんたちから「のろちび」と呼ばれ、ランドセルを引っ張られたり、鬼ごっこでは無理やり鬼にされたりと、いじめに悩んでいます。算数が苦手ですばやく解けず、給食を食べるのもゆっくり。何をやるにも遅れてしまう歩は、いつも「のろちび」とからかわれてしまうのです。ある日、隣の席のまいちゃんが、歩と同じ「歩」と書かれた将棋の駒を見せてくれました。興味を持った歩は、将棋の遊び方をお母さんとまいちゃんにたずねます。「歩」は前に一つずつしか進めないけれど、相手の陣地に入ると「と」に変わって強くなる—そのことを知った歩は、変身できる「歩」の駒をうらやましく思います…。

(汐文社 1650円)



小学3・4年生向け

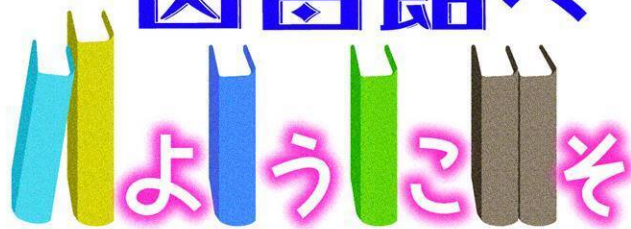
新スポーツスーパースター伝シーズン2 ① 藤井聡太

ベースボール・マガジン社編集

藤井聡太さんは、最年少の14歳2カ月でプロ棋士となり、史上初の八冠を達成するなど数々の記録を打ち立てた、将棋界のスーパースターです。将棋との出会いは5歳の時。将棋のセットをプレゼントしてくれた祖母に、初めて勝った時のうれしさが将棋を好きになったきっかけでした。その後、将棋への好奇心を持ち前の集中力で、知識をどんどん吸収して上達し、成長とともに次々と快挙を成し遂げ、周囲を驚かせます。インタビューの受け答えをする今の藤井さんをみると、いつも落ち着いて静かな印象を受けますが、実はとても負けず嫌いで、幼い頃は負けると大声で泣いたことも。そんな藤井さんの素顔や、強さの秘密に迫る一冊です。(ベースボール・マガジン社 2200円)



図書館へ



将棋に関わる人、仕事、物語

11月17日は「将棋の日」。徳川吉宗の時代から江戸城で年1回開催された「御城将棋」の日が由来です。今回は、いじめられっ子と将棋との出会いを描いた物語や、棋士・藤井聡太さんの伝記、将棋の魅力や仕事について書かれた本を紹介し、(山梨県立図書館 佐久間絵梨) 毎月第2週に掲載します

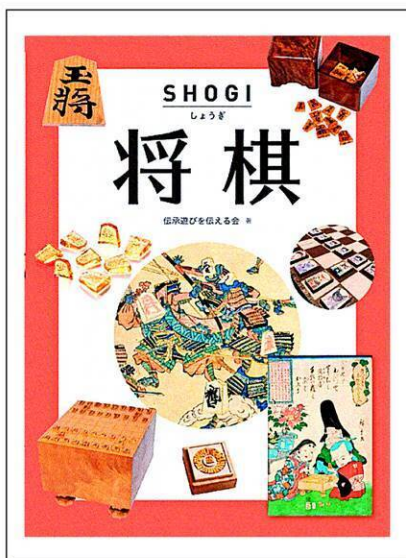
小学5・6年生向け

将棋

伝承遊びを伝える会著

かつては子どもから大人まで、身近な遊びだった将棋。今ではゲーム機はあっても将棋盤のある家庭は少なくなりました。それでも、人気漫画の影響や藤井聡太さんの活躍により「やったことはないけれど、ちょっと気になる」という人も多いのではないのでしょうか。本書では、将棋の歴史や、基本的なルールなどを豊富な写真やイラストとともにやさしく解説。駒の顔をした侍たちの合戦を描いた浮世絵や、駒形のあめやチョコレート、猫の絵が描かれた駒など、見て楽しい要素も満載です。さらに、福沢諭吉や太宰治、夏目漱石の将棋にまつわる逸話なども紹介されています。将棋を知らない人も知っている人も、その魅力を発見・再発見する一冊です。

(文溪堂 2750円)



中学生向け

お仕事ナビ20 キャリア教育支援ガイド 囲碁・将棋に関わる仕事

お仕事ナビ編集室編

囲碁・将棋に関わる仕事の内容や職場の様子を、写真とともに詳しく紹介しています。「将棋士」では、2018年に国民栄誉賞を受賞した羽生善治さんが登場。対局日の流れを追いながら、棋士たちや会場の緊張感まで伝えます。対局のない日も多忙な羽生さん。取材対応やイベント出演では、穏やかな表情もみられます。碁盤

・将棋盤を作る「盤職人」吉田寅義さんの一日は、仏壇・神棚への礼拝から始まります。吉田さんの盤に向き合う真剣なまなざしと、繊細で丁寧な作業の様子が印象的です。また、羽生さん吉田さんのこだわりの七つ道具や、インタビューも掲載。人柄や仕事への思いがわかる読み応えのあるガイドブックです。

(理論社 3300円)

